



令和4年11月11日

各位

会社名 トモニホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長兼CEO 中村 武
 (コード番号 8600 東証プライム)
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 藤井 仁三
 (TEL 087-812-0102)

剰余金の配当（中間配当）の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和4年11月11日開催の取締役会において、令和4年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議するとともに、令和4年5月13日に公表いたしました令和5年3月期の期末配当予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の決定内容

	決定額	直近の配当予想 (令和4年5月13日公表)	前期実績 (令和4年3月期第2四半期)
基準日	令和4年9月30日	同左	令和3年9月30日
1株当たり配当金	5円00銭	4円50銭	4円50銭
配当金総額	810百万円	—	727百万円
効力発生日	令和4年12月8日	—	令和3年12月8日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正内容

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (令和4年5月13日公表)	4円50銭	4円50銭	9円00銭
今回修正予想		5円00銭	10円00銭
当期実績	5円00銭		
前期実績 (令和4年3月期)	4円50銭	4円50銭	9円00銭

3. 理由

当社は、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけた上で、経営体質の一層の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

令和4年5月13日公表の「令和4年3月期決算短信」におきましては、当期の年間配当金予想を1株当たり9円00銭（中間配当金4円50銭、期末配当金4円50銭）としておりましたが、本日公表の「令和5年3月期第2四半期（中間期）決算短信」にてお知らせのとおり、当中間期の業績等は順調に推移しており、また、当期が最終年度となる第4次経営計画の目標である親会社株主に帰属する当期純利益（110億円）の達成が見込まれることから、中間配当金につきまして1株当たり50銭増配の5円00銭とするとともに、期末配当金予想につきまして1株当たり50銭増配の5円00銭に修正いたします。

これにより、前期に続いて2期連続の増配となり、1株当たりの年間配当金予想は、前期に比べ1円増配の10円00銭となる予定であります。

以上

本資料に記載されている配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の配当額は様々な要因により予想と異なる可能性があります。